

|         |               |         |
|---------|---------------|---------|
| 品 名/型 式 | サーミスターウォーターバス | IWB-250 |
|---------|---------------|---------|

この取扱説明書を良く読んでご使用ください。取扱説明書は保管して下さい。

本器は水専用のバスです。オイルは絶対に使用しないでください。サーミスターを利用した恒温水槽です。攪拌装置は内蔵していません。バス内の温度が均一になるよう、かきまぜながら使用するとバス内の温度が安定します。空焚防止装置も内蔵していません。

#### 仕 様

|         |   |                       |   |                                      |
|---------|---|-----------------------|---|--------------------------------------|
| バ       | ス | SUS304, 内寸φ250×H105mm |   |                                      |
| ヒ       | ー | タ                     | ー | AC100V, 1kw, 銅ニッケルメッキ製 ヒーター-内径φ165mm |
| 温度調整方式  |   | 時分割比例制御, ダイヤル設定       |   |                                      |
| 使用温度範囲  |   | 常温+5℃～90℃             |   |                                      |
| 電       |   | 源                     |   | AC100V, 50/60HZ, 11A, 三芯接地プラグ付電源コード  |
| 使 用 環 境 |   | 温度5~30℃ 湿度80%         |   |                                      |
| 外寸法・重量  |   | φ260×H185mm, 2,700g   |   |                                      |

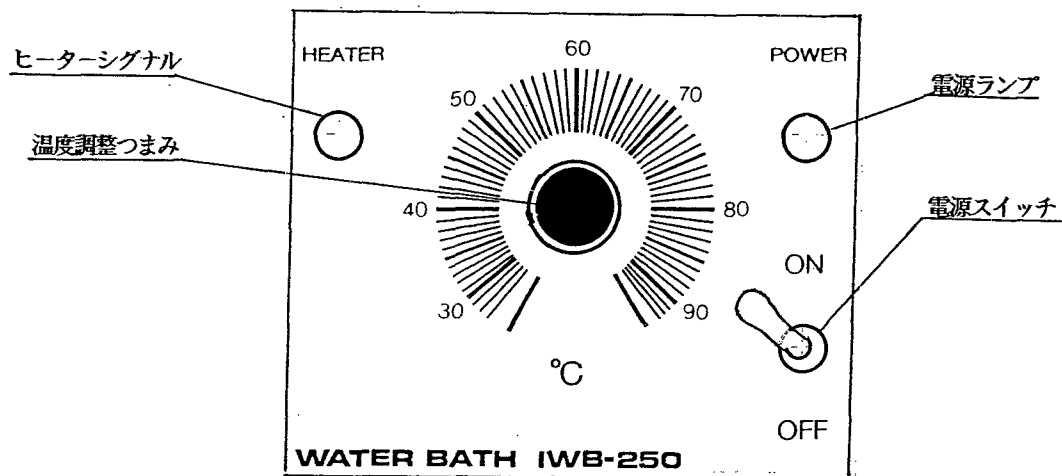
#### 安全のための注意事項

- 防爆型ではありません。引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。
- 電源はAC100V、11A以上取れる三芯接地付コンセントに直接差し込んでください。三芯接地付コンセントがない場合は接地アダプターを使用して、必ずアースを接続してください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。過熱、火災の原因になります。
- 使用中目を離さないでください。水の蒸発によって空焚きになる場合があります。
- 水平に設置してください。周辺に水蒸気の影響を受ける機器を置かないでください。
- 空焚きをしないでください。最低70%水を入れて使用してください。  
空焚防止装置はついていません。
- 本器は水専用です。オイルは絶対に使用しないでください。
- ヒーターは必ず水没している状態で使用してください。空炊きをするとヒーターは異常発熱し、火傷や火災の原因になります。
- ヒーターに直接手を触れると火傷します。手を触れないでください。
- 電装部に水がかからないようにしてください。腐食、電気系統の故障、特に漏電の原因となります。
- バスのふちに触って火傷をしないよう注意してください。
- 水槽の水は時々交換してください。汚い水を使用し続けると、ヒーターの腐食の原因になります。
- 使用環境の範囲を越えて使用しますと、動作不良、故障の原因となります。
- 使用しないとき、必ず電源コードを抜いて保管してください。
- 雷が鳴り始めたら、電源スイッチ、元電源を切ってください。
- 装置を分解・改造しないでください。漏電、感電、異常動作、火災等、事故の原因になります。

## 使用方法

1. 電源コードを差込む前に：
  - (1)バスに水を最低70%入れます。
  - (2)必要に応じて温度計クランプにお手持ちの温度計を差し込みます。
2. 電源コードを差込みます。
3. 温度調整つまみで温度の設定をし、電源スイッチをONにします。  
電源ランプが点灯します。  
ヒーターに通電されている間ヒーターランプが点灯し、設定温度に達するとランプは点滅します。  
温度センサー部分と、水槽上部では、温度差がかなりあります。混ぜ合わせると水温は安定します。  
ガラス温度計で水温を確認し、必要な場合はつまみを再度あわせてください。
4. 使用温度によって水の蒸発が早いので、水位を点検しながら使用してください。
5. 使用後必ず電源スイッチを切り、電源コードを抜いて保管してください。
6. 攪拌装置は内蔵していません。バス内の温度が均一になるよう、かきまぜながら使用するとバス内の温度が安定します。
7. 冬期、水温の低い時は、最初に希望温度に近いお湯を入れると、効率よく実験ができます。

## 操作部説明図



## 保証・故障・修理

1. 通常の使用における故障については、お買い上げ後一年間無償保証します。  
印刷の汚れ、剥がれ、外装の傷等、また、落下による破損、消耗品の交換等については、保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 使用中、異常が発生した場合、直ちに運転を中止し、販売店にご連絡ください  
製造番号もあわせてご連絡ください。